

【教職員の反省より】

1 学力向上に向けて

(1) 朝学習「ぐんぐんタイム」のより一層の充実をめざして

8時25分から15分間、「ぐんぐんタイム」と称して週1回、主に基礎基本の学習の定着をはかるために手だてを講じながら取り組んできました。今後は、よりいっそう基礎基本の定着が不十分な子どもたちへの個別指導に心がけながら、力のある子どもには発展問題にも挑戦させる指導にも心がけ、一人一人の力を高めていきたいと思ひます。

(2) 活用する力を高める授業について

単元の中に活用問題を位置づけながら、基礎基本的な学習の定着のための授業から活用する力が高まるように、思考し、判断し、表現する時間を確保した授業にも力を入れて指導していきなひ。

(3) 書く力を高める取り組みについて

ノートの書き方をどのようにすればいいか、子どもたちにイメージを持たせるために「みんなの広場」に学期に1回掲示して意識を高めてきました。今後は掲示から直接手にとって見られるように、実際に取り組んだノート(自分の考えを書く、振り返りを書く)から全校生に紹介したいノートを選び、展示します。卒業を控えた6年生には、小中連携という視点から、中学生のノートを展示することで、中学校での授業の受け方に関心をもたせ、授業や自主学習に丁寧に取り組んでいこうとする意識を高めていきなひと思ひます。

(4) 家庭学習の充実について

「10分×学年+10分」を基準に、どの学年も学習時間を確保させようと声掛け・点検をしてきました。これからも、学年だよりでの協力を呼びかけながら、保護者の方が宿題に目を通してチェックをする、音読は保護者にも聞いてもらうなどの連携をしていきなひと思ひます。

2 縦割り班活動で心を育む

1年生を迎える会、わくわく集会(1学期) 学区内オリエンテーリング(2学期) 長縄集会、6年生を送る会(3学期)の他にも交流給食、縦割り班清掃など、望ましい人間関係を築き、他者を思いやる心を育むために年間計画に位置づけて異学年交流に取り組んできました。

これからも縦割り班活動のよさをいかしながら、めあてをしっかりとらせて意図的、計画的、継続的な取り組みを推進していきなひと思ひます。

3 いじめのない学校づくり

いじめについては教育相談アンケート(「くらしのアンケート」)を学期ごとにとりながら、子どもたちの「今」を丁寧に把握し、心配なことについては、教職員全体で情報交換し、担任任せにしないで共通理解にたってみんなで指導する、教頭や校長にも相談しながら家庭との連携を図っていくことに心がけてきました。3学期も子どもたちにアンケートを取りながらいじめのない、一人一人が楽しく学校生活を送れるように子どもたちと丁寧に向き合って指導してまいります。ご家庭でもお子さんのことで気になるようなことがありましたら、遠慮なくお申し出ください。

4 特別支援教育に力を入れた学校づくり

天童市教育委員会では、山形大学教授の三浦光哉先生にお願いして特別支援教育に力を入れています。本校でも、三浦先生に1学期と2学期に授業を見ていただき、個別に支援が必要な児童についてどのような配慮が必要なのかご指導をいただき、研修会も随時ひらきながら指導してまいりました。また、すこやかスクール支援員を国語・算数を中心に、適宜授業に配置して、個別指導にも心がけています。今後も個別指導の場を意図的・計画的に設けたりしながら、きめ細かな支援に心がけてまいります。

5 学校の情報をタイムリーに地域・家庭へ発信します

今年度も、子どもたちの様子やがんばり、学校の情報を学校ホームページに載せて、地域やご家庭の方々にお知らせしてきました。安全・安心メールによる情報も発信してきました。今後も子どもたちの取り組みが伝わるように積極的にお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

6 集団の一員として生活する規範意識を持ち、自らルールを守って、安全で健康な暮らしをしようとする態度を育てる。

子どもたちの規範意識を高めるためには、タイミングを逃さずに継続的な指導が必要です。学校では月はじめに学区や近隣地区のパトロールをすることを含め、随時全体指導をしたり、学級で「高揃っ子の暮らし」をもとにしながら学級で指導したりしてきました。「生活リズム調査」や「健康診断」の結果から、アウトメディア（ゲーム、テレビの時間）対応、「肥満」・「虫歯」対策について、学校と家庭が共通理解のもと、PTA活動としても位置づけながら、一層連携して子どもたちと関わっていく必要性を強く感じます。

7 地域連携、幼稚園・保育園との連携

今年度は校地内に田んぼをつくり、5年生が年間を通して稲作りについて学習をすることができました。田んぼづくりに関わり地域の方々にご支援、ご協力をいただき大変助かりました。クラブ活動でも囲碁将棋で地域の方々に教えていただき感謝しています。

また、1年生の生活科の学習「秋祭りをしよう」にたかだま幼稚園やみどり保育園の園児を招待して学習をしたり、公民館に書き初めの作品を展示したりして子どもたちの頑張りを発信してきました。今後も幼稚園・保育園との連携、中学校との連携、地域との連携を可能な限り位置づけ、積極的に外部に「ひらく」ことで、子どもたちの生きる力を育み、信頼される学校づくりに努めてまいります。